



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 500部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報委員会



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は都志見病院に温かい御支援と御協力をいただき誠にありがとうございました。さて、今年度は御存知のように医療・介護報酬の同時改定が行われます。診療報酬は全体として1.19%の引き下げとなり3回連続のマイナス改定となっています。われわれ地方の病院にとっては安定した医療提供体制維持における危機的状態は続きます。その中で、地域包括ケアシステムの構築を進めるという命題のもとに、少子高齢化の最先端を行くこの医療圏において、いかにして住みよい暮らしを守っていくか。これは国策の誘導ではなく、地域の皆が知恵を出し合う必要があります。地域医療構想では調整会議において、主に療養病床の削減や転換を視野に入れた病床機能の見直しが議論となっています。高齢独居世帯が多く、介護を担える家族が少ない地域性を考えると、療養病床の早急な削減は無理があり、介護の受け皿の整備が必要です。都志見病院グループには訪問看護ステーションつばき、居宅介護支援事業所、特別養護老人ホームの紫福園やむつみ園があり、医療と介護の連携を担う組織としてさらなる充実が期待されています。それに加えて昨年12月から東3階の一般病棟を地域包括ケア病棟に転換することとなりました。この医療圏では今までなかった回復期病棟として急性期医療を終えた患者さんのリハビリを主とした在宅復帰支援を行います。さらにはレスパイト機能や、ゆくゆくは在宅医療の後方支援の役割が果たせれば地域にとって有用なものになると考えています。皆様の御意見や御要望に沿えるような組織になりますように関係職員一丸となって努力する所存であります。本年も引き続き御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

文責 副院長 安藤 静一郎

戌戌



地域包括ケア病棟開設のお知らせ

東館3階病棟（57床）を「地域包括ケア病棟」として開設いたしました。

地域包括ケア病棟について

「地域包括ケア病棟」とは、急性期治療を終えて、病状が安定した患者様に対して、在宅や介護施設等への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟です。



一般病棟より地域包括ケア病棟へ転棟して頂く場合は、主治医が判断し、患者様とご家族に提案をさせていただきます。了承頂けた場合、地域包括ケア病棟へ転棟し継続入院となります。当院の多職種が関わり、安心して退院して頂けるよう、治療・支援を行います。入院期間は、症状に応じ調整することとなりますが、最高60日を限度としております。

地域包括ケア病棟の機能

1. 入院治療により病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリが必要な方の受け入れ
2. 自宅や施設で療養中の方が、急性疾患で入院治療が必要な方の受け入れ
(病状により直接入棟可能な場合もあります)
3. 在宅での生活に向けて調整・準備が必要な方の受け入れ



※原則は、一般病棟へ入院後、必要に応じ地域包括ケア病棟へ転棟となります。

入院費について

入院費は定額で、入院基本料・検査料・画像診断料・処置料・注射料・投薬料・リハビリテーション等のほとんどの費用が含まれています。

治療内容によっては、一般病棟より自己負担金が増額する場合もありますが、月の医療費の負担条件が定められていますので、一般病棟の場合と負担上限は変わりません。(75歳以上ではほとんどの場合増額はありません。)

詳しくは病棟事務職員にお尋ね下さい。



シリーズ- “がん”について知っておこう



今回は早期発見が難しく予後が悪いとされる膵臓がんについてお話しします。我が国の2015年にがんで死亡した人の数は約37万人であり、そのうち、膵臓がんは全体の第4位(10.4%)でした。予後も極めて悪く、全体の5年生存率は約8%です。外科的治療により病巣を完全に切除する必要がありますが、早期発見が難しく、手術ができるのは患者全体の約30%程度しかいません(表参照:膵臓がん症例、約3,800人に対し、手術されたのは約1,300人)。手術ができたとしても、5年生存率は20%程度です。膵臓がんは非常に発見しにくく、多くの場合で発見時(症状出現時)にはかなり進行した状態です。いかに早く膵臓がんを発見するかが重要なポイントとなります。健康診断で

膵臓がんを発見できる検査は腹部超音波検査ですが、膵臓は非常に検査しにくい場所にあるので毎年健康診断を受けているからと言って早期発見できるわけではありません。

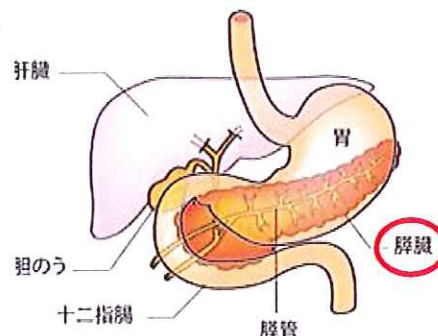
そのため、膵癌診療ガイドラインでは膵癌の家族歴、糖尿病、肥満、膵臓の嚢胞性疾患、慢性膵炎、アルコール多飲といった危険因子を有する場合はとくに注意が必要とされています。これら危険因子を有する方は定期的な健康診断を受ける

必要があります。医療者側も臓がんを意識して検査する必要があります。

外科 坂本 和彦

2015年の死亡数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓



膵臓がん症例

膵臓	がんの進行度	患者数	患者の割合(%)	5年生存率(%)
	I	234	6.1	37.1
	II	789	20.7	16.3
	III	751	19.7	5.5
	IV	1,941	50.8	1.3
	不明	105	2.7	29.8
	計	3,820	100.0	8.2

手術症例のみ

膵臓	がんの進行度	患者数	患者の割合(%)	5年生存率(%)
	I	191	14.8	43.7
	II	618	47.9	19.7
	III	273	21.2	12.1
	IV	164	12.7	8.7
	不明	44	3.4	56.6
	計	1,290	100.0	21.6

がんの統計 2016 (公)がん研究振興財団)



地域がん公開講座 「がんと共に生きる」開催のお知らせ

今年も地域がん公開講座を、平成30年2月17日(土)10:00~12:00
場所:千秋楽 味楽亭で開催致します。今回は、柳井市在住で、自己のがん闘病をきっかけに、「ありがとうの森」を主催されご活躍中(24時間TVにも2回出演されました)の西本敏昭氏(ニックネーム:にしぼん)をお呼びして「ガンにありがとう」と言うテーマでご講演いただきます。西本氏の絵手紙は、筆文字とほんのりするイラストで癒される方が沢山いらっしゃいます。大寒の冷たい身体と心を、ほのぼのと癒されてください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「がんと共に生きる」

「ガンにありがとう」

講師 西本 敏昭氏

「がん経験者の現状と展望」

司会 山本 達人

「がんと向き合い、今を生きる」

司会 阿野 芳子氏

日時 平成30年 2月17日(土)
10:00~12:00(開場9:30)

会場 千秋楽 味楽亭3階 (先着順)

協賛 柳井市 柳井市役所 柳井市健康推進課

TEL 0838-22-2811(代)

都志見居宅介護支援事業所からのご案内

介護相談
しています

毎週（水）の午前11時～正午
まで、外来待ち時間を利用した
介護相談を受け付けています。
ご相談は全て無料です。



物忘れがひどく
なってきたみたい!!

介護保険を
利用するには、
どうしたらいいの？

一人暮らしが
心配...



ケアマネージャーにご相談下さい!!



No.2

お尻と膝の関係実践①

ボールリリース編

前は“椅子から立ち上がると歩きづらい、膝の内側が痛い”
という訴えの原因が実はお尻にあるというお話をさせていただきました。今回は
どうしたら改善するかをお話させていただきます。リハビリを受けていただけ
ると話が早いのですが、ご自身でも対応可能です。お尻の筋肉を柔らかくする為
に、股関節からお尻にかけボールで押圧していきます。

まずは臀部のボールリリース(図1)。その後、大腿部外側～股関節周囲筋群の
ボールリリースを実施します(図2)。不活動という生活習慣が膝痛を引き起
こしている一因となっています。こまめなメンテナンスが必要です！

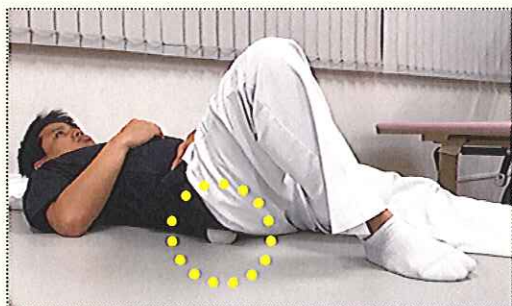


図1 臀部ボールリリース



図2 股関節周囲筋群ボールリリース

リハビリテーション部スタッフは笑顔と感謝をもって患者様をお迎えしております。
痛みのことなら何でもご相談ください。



ケーススタディ 発表会



11月20日(月) 当院7階会議室で行いました。患者様との関わりを通して多くの学びがありました。自分の“看護”を振り返り、[まとめ]を発表しました。

3階病棟:三好

嚥下困難で経口摂取可能な患者様との関わり(多職種との連携)

透析室:仁保

内服の自己管理が困難な患者様との関わりで学んだこと

3階病棟:秋丸

看護師に対して否定的な言動の患者様の退院指導を行って学んだこと

3階病棟:水津

離床・リハビリを拒否する患者様に、排泄援助を通して関わり、学んだこと

3階病棟:中村

居住地を離れた病院への救急搬送
～不安を抱えての入院生活を支えて～



患者サービス向上委員会主催 糖尿病教室・キャロリングのご報告



【糖尿病教室】

糖尿病講演会 11月28日(火)14:00～15:00
東館2階待合室で行い、患者様・職員約50名の参加がありました。

演題『糖尿病と神経障害』、
講師 糖尿病専門医 正木洋治先生



委員会メンバーによる寸劇



【クリスマス・キャロリング】



当日は、
血糖値測定
も行いました



12月22日
クリスマス・
キャロリング
菟光塩学院
の皆さんあ
りがとうござ
いました!!



11/18
出第11回
出前講座**“がん”について知っておこう in 大島**

都志見病院 第11回 出前講座「“がん”について知っておこう」が平成29年11月18日(土)9:30～11:00大島漁村センターで開催されました。山本副院長『知って得！納得！「がん診療」』、玉一薬剤部長『がん診療における緩和ケアの推進～医療用麻薬の適正使用について～』、患者サロン“だいたい”代表より岡野芳子氏『がんと向き合う』の講話がありました。午前中の講演にも関わらず、島民の皆さん33名の方にご参集頂き、熱心に聞いてくださいました。本当にありがとうございました。



ございました。出前講座も回を重ね、住民の方々と密着した講演会となり私たちも嬉しく思います。さて、次はどこの地域に参りましょうか……！？検討中です。乞うご期待！！

**学会発表してきました**

各地で学会発表してきました

**第71回 長北医学会 in 萩**

頭部操作・腹部操作先行、腹臥位胸腔鏡下食道切除術の経験 — 外科 山本達人
臨床工学技士による在宅人工呼吸患者訪問業務を開始して — 臨床工学部 野村知由樹
自分の人生の最期をどう迎えたいです？～市民公開講座参加者のアンケート結果より～
— 看護部 石井恵子
当院における周術期がん患者に対するNST介入と問題点 — 栄養サポートチーム 高橋侑花

第77回 日本臨床外科学会 in 東京

化学療法における外科医の役割 — 地方・地域がん診療病院の現状
— 外科 山本達人
右鼠径ヘルニア術後6年目に遅発性メッシュ感染をきたした1例
— 外科 得能和久
胃癌R0手術後ドレーン抜去部に腹壁転移をきたし切除した1例
— 外科 亀井滝士
脂肪腫を伴ったMeckel憩室による成人腸重積症に対して
腹腔鏡下手術を施行した1例 — 外科 徳久晃弘

**第30回 日本内視鏡外科学会 in 京都**

食道裂孔ヘルニア関連疾患に対する腹腔鏡手術 — 外科 山本達人
下行結腸固定異常によるS状結腸軸捻転症に対し腹腔鏡下行結腸固定術を施行した1例
— 外科 得能和久
腹腔鏡下に修復した外鼠径ヘルニアを合併したSpigelヘルニアの一例
— 外科 亀井滝士

永年勤続者表彰

都志見病院では毎年の忘年会にて、勤続年数に応じて「永年勤続者表彰」を行っております。

この度は勤続30年3名、20年5名、10年4名の表彰となりました。経験を活かし、今後も地域に貢献できるよう励みます！以下3名は勤続30年表彰者です。



クラブ活動

【都志見ダンスクラブ】

今年も忘年会での披露は大盛況！
少しずつレパートリーも増えています。



【都志見ランナーズ】

下関海峡マラソン・萩城下町マラソンに参加しました。各自目標を定め成長を遂げています！



職員旅行 in 広島

9月・10月の2班に分かれ、職員旅行を実施しました。劇団四季「オペラ座の怪人」観劇・市内自由行動の2つのプランにて、職員とその家族、総勢101名が参加しました。



くすのき掲示板



運動会では障害走「はらぺこあおむしの冒険」やお遊戯「きょうりゅうダンス」など内容も充実。子ども達も最後までしっかり頑張りました！



どんぐり製作



秋ならではのイベントを実施しました。親子でどんぐりを貼ってフレーム作り。「この時期好きだった絵を描いて飾って記念にします」との声もありました。

運動会



クリスマス会



今年は「手作り楽器」や「劇「3匹のこぶた」」など見どころ満載でした。練習よりセリフを頑張っていた2歳児さん。上手に言えて満足していました。サンタクロースの登場も盛り上がりしました!!